



平成 23 年 10 月 4 日
株式会社博報堂

博報堂、生活者の声から社会的なアクションを生み出す未来創りコミュニティ 「Voice Vision β版」を Facebook 上にて運営開始

博報堂はこのたび、生活者ひとりひとりの声からソーシャルアクションを生み出すための未来創りコミュニティ「Voice Vision」を Facebook 上に立ち上げました。

これまで博報堂は企業向けのマーケティングサービスを数多く開発し提供して参りましたが、「Voice Vision」は生活者向けのオープンプラットフォームとしてご提供し、社会的なテーマへの取り組みを目指すものです。

デジタル技術がもたらした「生活者主導社会」において、ソーシャルメディア上で生活者同士の活発なコミュニケーションが一気に加速しています。ことに東日本大震災といった生活基盤や価値観がゆらぐような状況下でも、生活者はネットワーク上で積極的に知恵を出し合い“誰かのために自分ができること”を常に考え、実際に行動する姿が見受けられました。

博報堂は、こうした生活者の自発的かつ意志ある声のやりとりに着目し、ひとりひとりの声を社会の役に立つ“ヴィジョン”に転換するためのプラットフォームとして「Voice Vision」を立ち上げました。

「Voice Vision」では、博報堂が設定したテーマに沿って、Facebook登録者を対象としたディスカッションが主な活動となります。参加者はPCや携帯電話、スマートフォン等からFacebookの「ウォール」のページに、自分の体験談や普段の気づき、将来こうなったらいいという思いなどを書き込んでいきます。豊富な経験と実績を持つファシリテーターが、ひとりひとりの声に潜んでいる本質を掘りおこし、そこから高いクリエイティビティを持つ“ヴィジョン”へと昇華させます。

寄せた声やコメント数、自分が押したり押されたりした“いいね”数など、プロジェクト内での行動には全てポイントが加算され、個人の貢献度が反映される仕組みとなっております。

「Voice Vision」第一弾として、現在喫緊の課題であるエネルギー問題に対応した未来のライフスタイルを実現するプロジェクトを本日 10 月 4 日より立ち上げました。このプロジェクトは、アジア最大級のIT・エレクトロニクス展CEATECにて、「ミライニホンプロジェクトTM」*1の一環として展示される“オフグリッドな暮らしを実現するためのプロトタイプ・ハウス”のブースでもご覧いただけます。ご来場いただいた方は、プロトタイプ・ハウスに対する率直なご感想やご意見を、ブース内で Facebook 画面を見ながら直接「Voice Vision」にお寄せいただくことができ、未来のスマートライフ実現のプロセスにご参加いただけます。ぜひともお立ち寄りください。

博報堂は今後も「生活者発想」の先駆者として、世の中に潜在する生活者ニーズを掘り起こし、生活者と共に考え、社会的なアクションを共創するプロジェクトを推進してまいります。



<本件に関するお問い合わせ先>

博報堂

広報室 藤井・大野 tel:03-6441-6161

<用語説明>

*1 「ミライニホン™」プロジェクトは3.11の東日本大震災以降、自然エネルギーへの転換を求める生活者の声の高まりの中、「自らエネルギーを生み出し、蓄積し、消費する暮らしの実現」が、社会課題となっていることに着目したことから発生し、その先にある全く新しい価値を世の中に提案することを目指しています。TBWA博報堂と、企業内大学Hakuhodo Univ.構想ラボ*²が協働で設置したHCOIラボの第一弾プロジェクトとして位置づけられています。

*²Hakuhodo Univ.(通称:博報堂大学)の「構想ラボ」(2005年発足)

Hakuhodo Univ.は、社員の構想力を高めるために注力する人材育成の社長直轄組織。
社員自らの構想により新たなイノベーションの芽をつくり、具現化するための研究・実験を行うための「構想ラボ」等が備わっている。